

医療現場の課題

女性医師のキャリア選択と賃金格差

臼井恵美子
一橋大学・経済研究所

2024年9月18日
財務省財務総合政策研究所ランチミーティング

本報告は下記の論文に基づいている

- ・「医師専門医資格取得の男女差と医療現場の課題」、臼井恵美子・羽衣杉雄、『経済研究』、2020年。
- ・“Effects of Mandatory Residencies on Female Physicians’ Specialty Choices: Evidence from Japan’s New Medical Residency Program,” with Tsunao Okumura, Yuko Ueno, and Emiko Usui, Labour Economics, 2024年。
- ・「女性外科医を増やすためには？－新医師臨床研修制度の導入が女性医師の診療科選択に与えた影響」、臼井恵美子・上野有子・奥村綱雄、『経済研究』、2025年。コラム

女性医師の増加

- 日本で女性医師は増加傾向
医師全体の2割を占める
30～40歳代の医師に占める女性医師割合： 1994年 12% → 2016年 28%
- 男性医師と女性医師のキャリア形成の実態とその違いを検証する
臨床研修修了後からの医師のキャリア形成が男性・女性医師でどのように異なるのか
- 2004年に導入した新臨床研修制度（スーパーロート研修：複数の診療科を経験）
が、女性医師のキャリア形成に与えた効果を分析

データ

- 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
2年に1度、全医師を対象に配布・回収される「医師届出票」の個票データ

医籍登録番号(各医師固有)、性別、生年月、医籍登録年月の情報を利用
→医師のキャリア経路を把握・分析

1994年～2016年までのデータを利用

診療科ごとの女性医師比率、2016年

【男性比率の高い診療科】

	年齢<40	年齢<65
外科	18.8%	9.9%
脳神経外科	11.4%	6.0%
整形外科	9.6%	5.6%
泌尿器科	13.3%	6.5%

【女性比率の高い診療科】

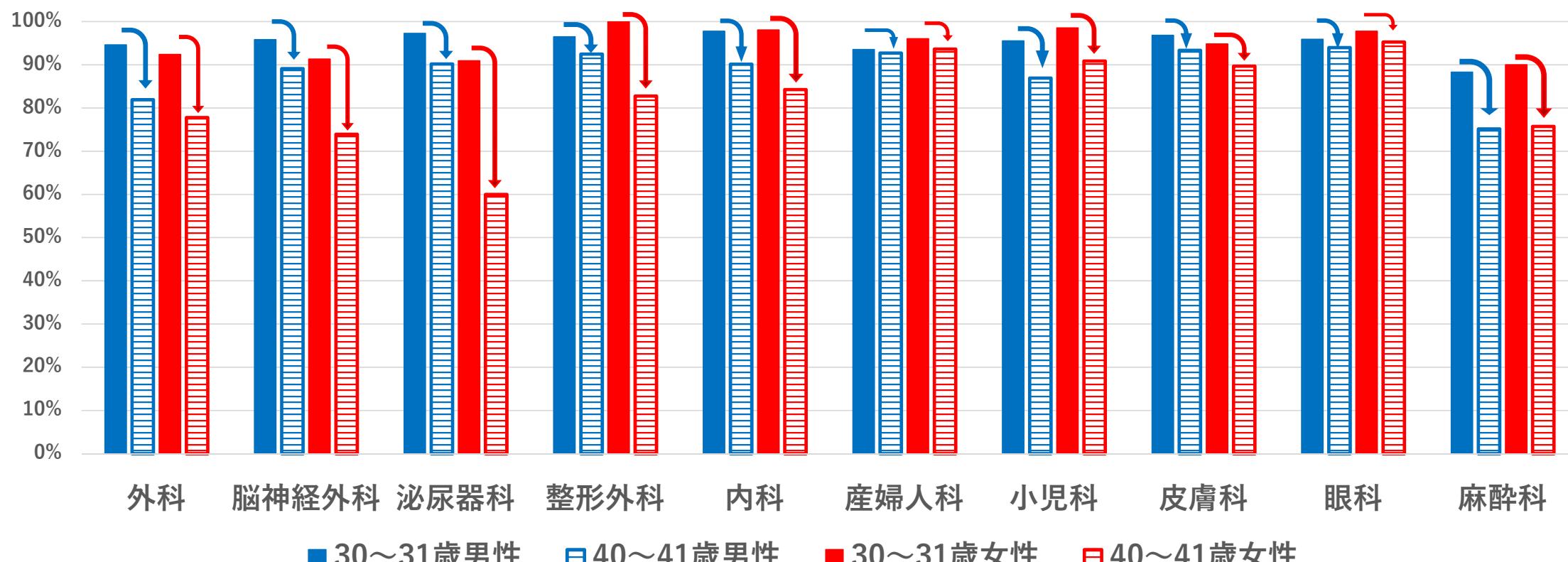
	年齢<40	年齢<65
産婦人科	63.3%	42.0%
小児科	42.9%	36.3%
眼科	44.7%	39.2%
麻酔科	52.9%	40.5%

	年齢<40	年齢<65
総計	32.5%	29.4%

初職診療科ごとの初職診療科維持率 1968-1969年度生まれ

男性比率の高い診療科
女性の初職診療科維持率が低い

女性比率の高い診療科
女性の初職診療科維持率が高い

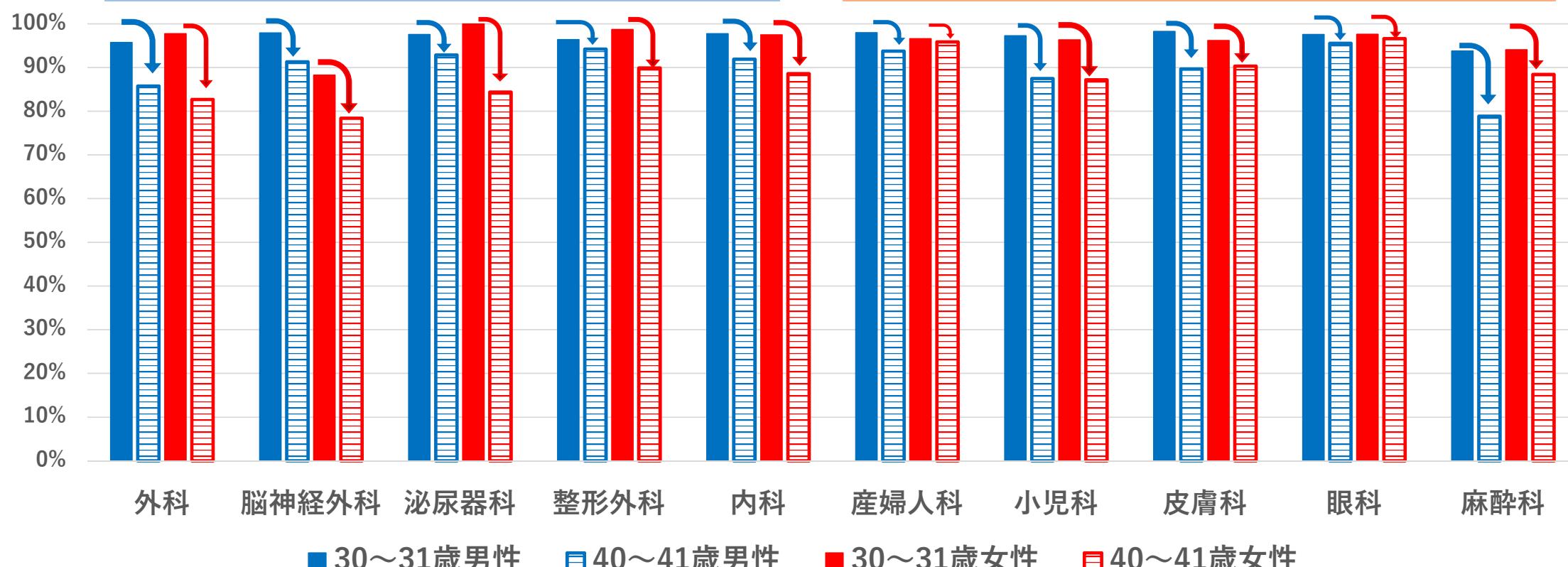


男性比率の高い診療科において、女性医師の初職診療科維持率が低い／転科する

初職診療科ごとの初職診療科維持率 1978-1979年度生まれ

男性比率の高い診療科
女性の初職診療科維持率が低い

女性比率の高い診療科
女性の初職診療科維持率が高い



男性比率の高い診療科において、女性医師の初職診療科維持率が低い／転科する

医師のキャリア

初職診療科を選択

初職診療科の継続

初職診療科で3~5年の
専門医研修プログラム、
経験症例数、審査

基本領域専門医資格の取得
診療科で一通りの知識・技能を獲得

キャリア形成初期段階

より専門分化した設定
より多くの症例数を経験

サブスペシャリティ領域

専門医資格の取得

基本領域専門医より専門分化

キャリア形成中堅段階

専門医資格

基本領域専門医

総合内科専門医
小児科専門医
皮膚科専門医
外科専門医
整形外科専門医
産婦人科専門医
眼科専門医
耳鼻咽喉科専門医
泌尿器科専門医
脳神経外科専門医
放射線科専門医
麻酔科専門医
病理専門医
救急科専門医
形成外科専門医
リハビリテーション科専門医

サブスペシャリティ領域専門医

呼吸器専門医
循環器専門医
消化器病専門医
腎臓専門医
肝臓専門医
神経内科専門医
糖尿病専門医
内分泌代謝科専門医
血液専門医
アレルギー専門医
リウマチ専門医
感染症専門医
心療内科専門医
呼吸器外科専門医
心臓血管外科専門医
乳腺専門医

気管食道科専門医
消化器外科専門医
小児外科専門医
超音波専門医
細胞診専門医
透析専門医
老年病専門医
消化器内視鏡専門医
臨床遺伝専門医
漢方専門医
レーザー専門医
気管支鏡専門医
核医学専門医
大腸肛門病専門医
婦人科腫瘍専門医
ペインクリニック専門医

熱傷専門医
脳血管内治療専門医
がん薬物療法専門医
周産期(新生児)専門医
生殖医療専門医
小児神経専門医

医師としてのキャリア形成の男女差

男性比率の高い初職診療科

外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科

男性比率の高い初職診療科

	初職診療科が 外科	初職診療科が 脳神経外科	初職診療科が 整形外科	初職診療科が 泌尿器科
初職診療科 維持	男性の82%が維持 女性は4%pt低い	男性の87%が維持 女性は6%pt低い	男性の90%が維持 女性は4%pt低い	男性の89%が維持 女性は6%pt低い
基本領域 専門医 資格取得	男性の67%が取得 女性は4%pt低い	男性の73%が取得 女性は8%pt低い	男性の66%が取得 女性は3%pt低い	男性の74%が取得 女性は5%pt低い
サブスペシャリティ 専門医 資格取得	男性の37%が取得 女性は5%pt低い	男性の13%が取得 女性は5%pt低い	男性の9%が取得 女性は2%pt低い	男性の10%が取得 男女差なし

初職診療科維持率

基本領域専門医資格の取得率

サブスペシャリティ領域専門医資格の取得率

女性よりも男性の方が高い

就業継続しやすい環境整備+全般的キャリア育成支援

医師としてのキャリア形成の男女差

女性比率の高い初職診療科

産婦人科、小児科、麻酔科、眼科

女性比率の高い初職診療科

	初職診療科が 産婦人科	初職診療科が 小児科	初職診療科が 麻酔科	初職診療科が 眼科
初職診療科 維持	男性の90%が維持 男女差なし	男性の87%が維持 女性は1%pt高い	男性の76%が維持 女性は6%pt高い	男性の90%が維持 女性は1%pt高い
基本領域 専門医 資格取得	男性の76%が取得 男女差なし	男性の66%が取得 男女差なし	男性の60%が取得 女性は4%pt低い	男性の70%が取得 男女差なし
サブスペシャリティ 専門医 資格取得	男性の20%が取得 女性は6%pt低い	男性の19%が維持 女性は3%pt低い	男性の9%が取得 女性は2%pt低い	男性の1%が取得 女性は0.7%pt低い

サブスペシャリティ領域専門医資格の取得率 → 女性よりも男性の方が高い

中堅層のキャリア育成支援

★医師キャリアの男女差のは是正：診療科間の違いに配慮した施策が必要

2004年からの新臨床研修制度の効果

ストレート研修(単一診療科) ⇒ スーパーロート研修

スーパーロート研修

研修医は、**外科**や**内科**など計7科目が必修となり、複数の診療科を経験
診療科の活動をあらかじめ知ることができる

新臨床研修制度の導入により、

- ①初職診療科は変化したか？
- ②初職診療科の継続率、専門医資格の取得はどうなったか？

新臨床研修制度の効果 研修医の初職診療科選択

1965～1981年度生まれの臨床研修医

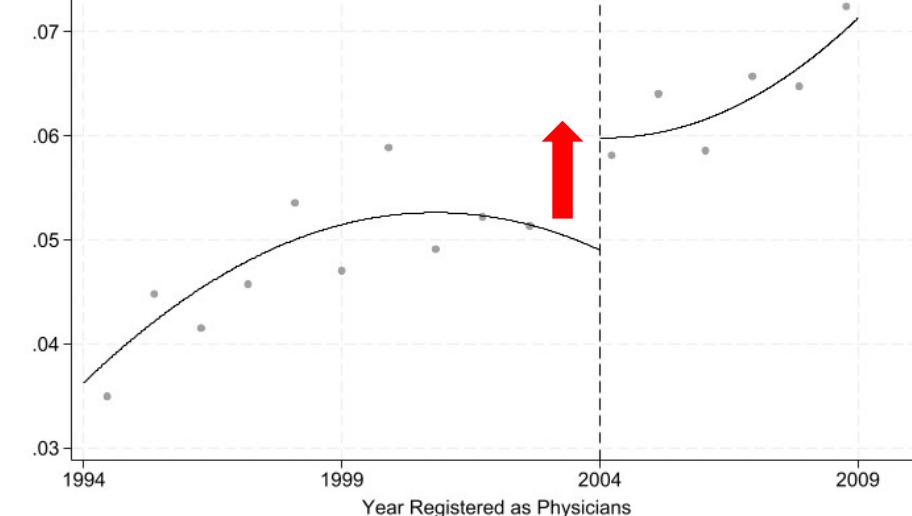
医籍登録年：1994年～2009年

旧制度と新制度で臨床研修をうけた医師を比較する

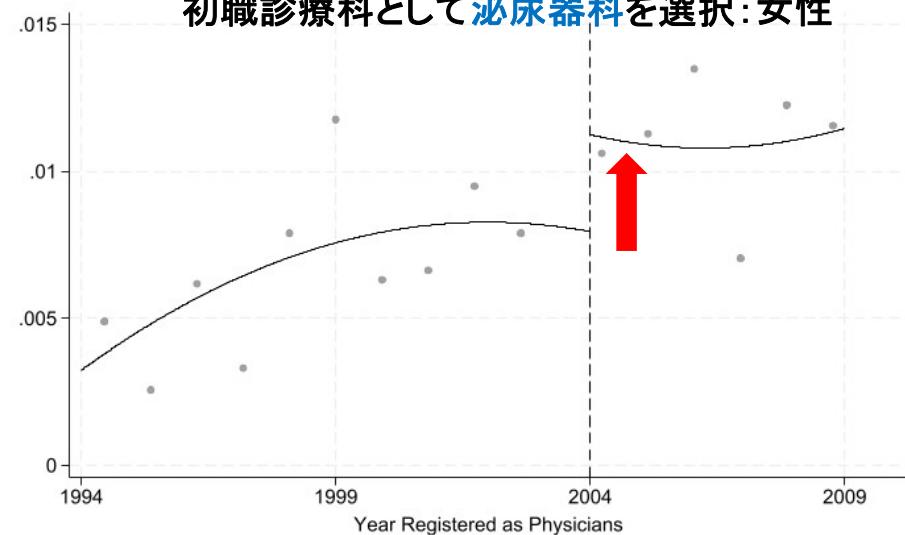
新制度以前から、外科を選択する女性医師は増えている

新臨床研制度修前後: 研修医の初職診療科選択

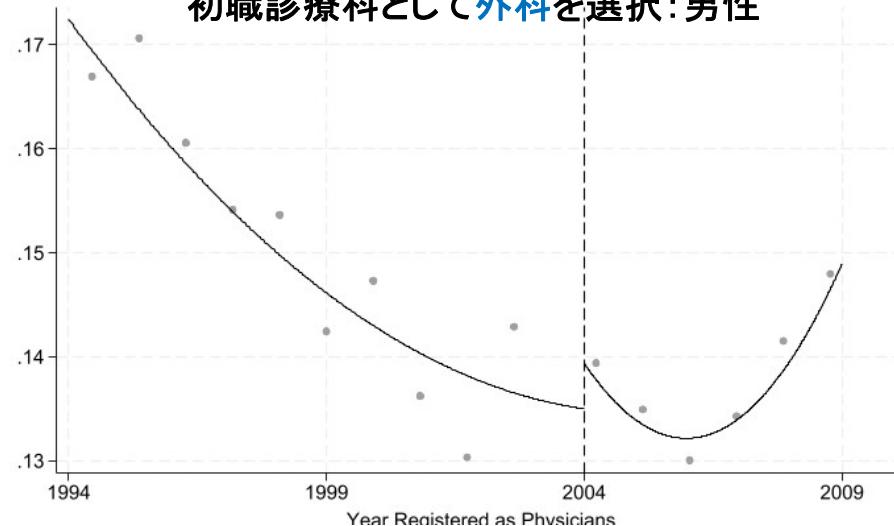
初職診療科として外科を選択: 女性



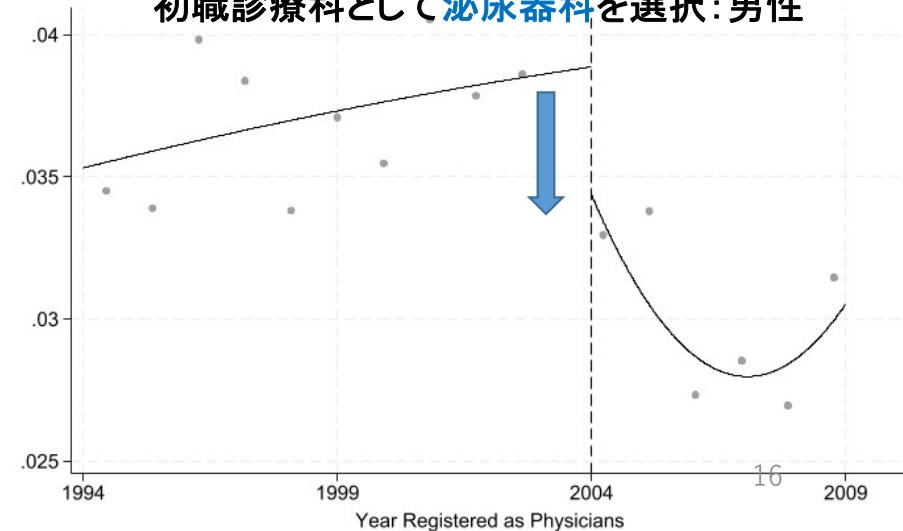
初職診療科として泌尿器科を選択: 女性



初職診療科として外科を選択: 男性

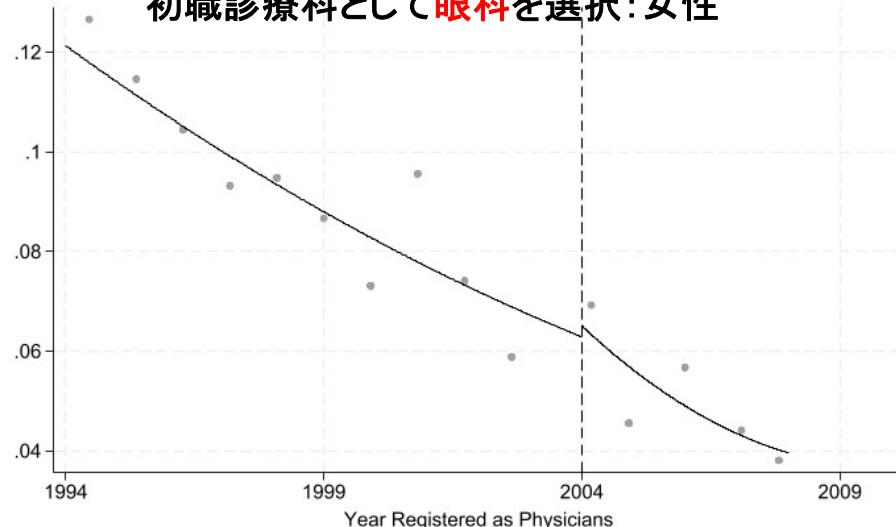


初職診療科として泌尿器科を選択: 男性

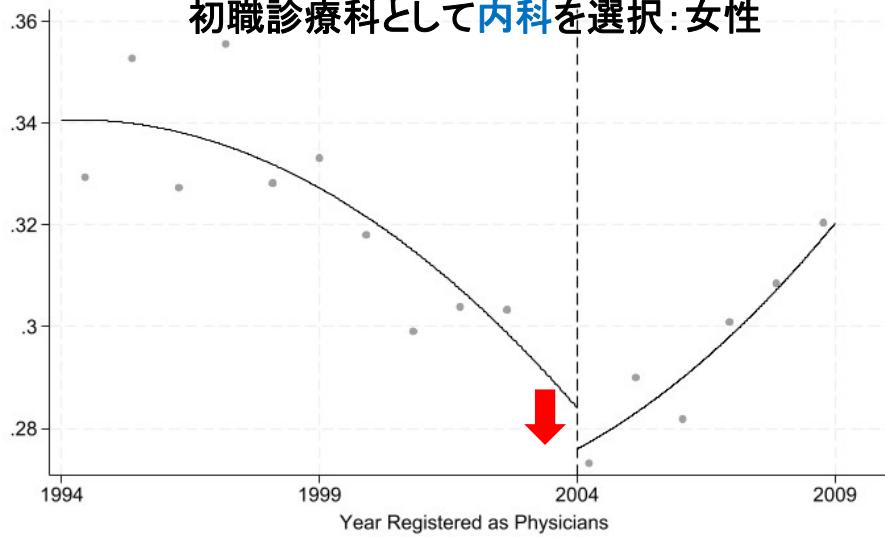


新臨床研制度修前後: 研修医の初職診療科選択

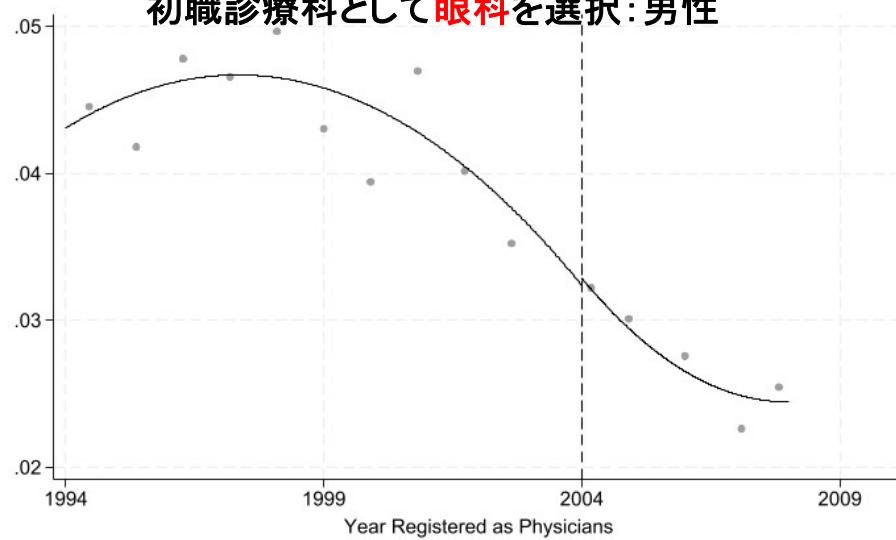
初職診療科として眼科を選択: 女性



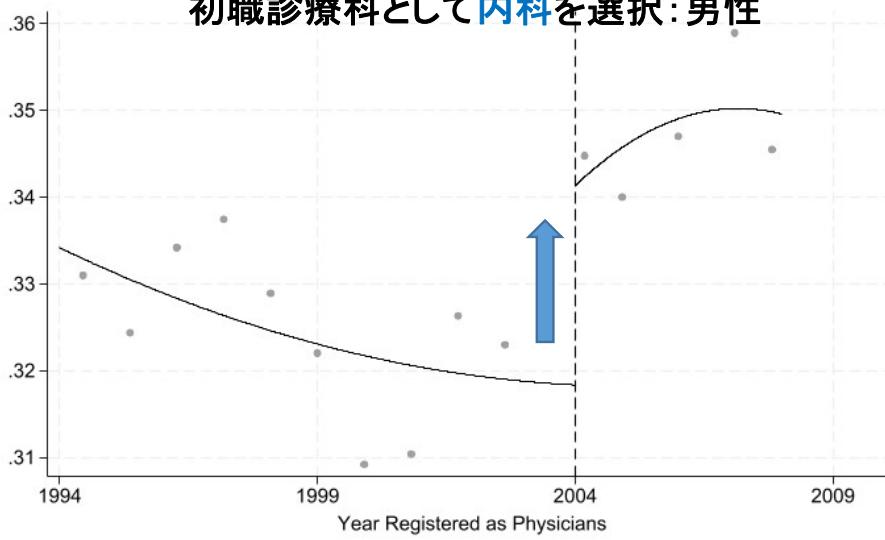
初職診療科として内科を選択: 女性



初職診療科として眼科を選択: 男性



初職診療科として内科を選択: 男性



研修医の初職診療科選択:

	被説明変数：初職診療科選択								
説明変数	外科	泌尿器科	脳神経外科	整形外科	内科	産婦人科	小児科	麻酔科	眼科
新研修制度	-0.003	-0.006	-0.012***	-0.007	0.019*	-0.001	-0.003	0.022***	-0.001
新研修制度 × 女性	0.027**	0.015**	0.009*	-0.002	-0.034*	-0.000	-0.011	0.002	-0.012
R ²	0.021	0.007	0.006	0.019	0.002	0.018	0.010	0.010	0.012
N	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314
男性医師の中で 初職診療科として 選ぶ割合	14.9%	3.6%	3.6%	9.6%	32.6%	2.7%	4.9%	3.7%	3.9%

新制度の導入により、

【外科】を初職診療科とする女性医師が2.7%ポイント増えた

【泌尿器科】を初職診療科とする女性医師が1.5%ポイント増えた

【脳神経外科】を初職診療科とする女性医師が0.9%ポイント増えた

スーパーローーテート研修により、女性医師は敬遠しがちであった外科も経験

研修医の初職診療科選択

	被説明変数：初職診療科選択									
説明変数	外科	泌尿器科	脳神経外科	整形外科	内科	産婦人科	小児科	麻酔科	眼科	
新研修制度	-0.003	-0.006	-0.012***	-0.007	0.019*	-0.001	-0.003	0.022***	-0.001	
新研修制度 × 女性	0.027**	0.015**	0.009*	-0.002	-0.034*	-0.000	-0.011	0.002	-0.012	
R ²	0.021	0.007	0.006	0.019	0.002	0.018	0.010	0.010	0.012	
N	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314	77314	
男性医師の中で 初職診療科として 選ぶ割合	14.9%	3.6%	3.6%	9.6%	32.6%	2.7%	4.9%	3.7%	3.9%	

新制度の導入により、
【整形外科】を初職診療科とする女性医師は増えなかった
→ 肉体労働的な要素がある

【内科】を初職診療科とする女性医師が3.4%ポイント減った
【眼科】を初職診療科とする女性医師が1.2%ポイント減った

初職診療科選択と診療科ごとの働き方について

1週間の勤務時間数：診療科別 医師の勤務実態調査

週当たり勤務時間	病院常勤勤務医
内科	56時間13分
外科	61時間54分
小児科	54時間15分
産婦人科	58時間47分
精神科	47時間50分
皮膚科	53時間51分
眼科	50時間28分
耳鼻咽喉科	55時間02分
泌尿器科	56時間59分
整形外科	58時間50分
脳神経外科	61時間52分
形成外科	54時間29分
救急科	60時間57分
麻酔科	54時間06分
放射線科	52時間54分
リハビリテーション科	50時間24分
病理診断科	52時間49分
臨床検査科	46時間10分
総合診療科	57時間15分
臨床研修医	57時間26分
全診療科平均	56時間22分

女性臨床研修医の方が、男性臨床研修医よりも、
勤務時間が短い診療科を選ぶ

1970年生まれ
女性臨床研修医は男性臨床研修医よりも
2. 0時間短い診療科を選ぶ

1980年生まれ
女性臨床研修医は男性臨床研修医よりも
1. 3時間短い診療科を選ぶ

男女差は縮小傾向にあるものの、依然、残っている

女性外科医が増えた

外科

- 乳腺外科の医師に占める女性割合: 2008年の15.0%から2016年には28.6%に増えた
- 消化器外科の女性医師比率は、2008年の4.2%から2016年の6.2%に増えた
- 心臓血管外科の女性医師比率は、2008年の4.4%から2016年の5.9%に増えた
- 呼吸器外科の女性医師比率は、2008年の5.2%から2016年の7.6%に増えた
- 肛門外科の女性医師比率は、2008年の3.4%から2016年の5.3%に増えた

乳腺外科で女性医師が増えた

- 女性患者が多い
- 女性医師自身も高い関心を持つ医療領域
- 初職診療科を選択する段階で、女性外科医が増えたことが、乳腺外科医が増えた要因になっている

医師としてのキャリア形成の男女差

長期的なキャリアへの影響

新制度が医師の長期的なキャリアに与えた影響

	初職診療科：外科			初職診療科：産婦人科			初職診療科：内科		
説明変数	初職 診療科 継続	基本領域 専門医資格 取得	サブスペ cialty 専門医資格 取得	初職 診療科 継続	基本領域 専門医資格 取得	サブスペ cialty 専門医資格 取得	初職 診療科 継続	基本領域 専門医資格 取得	サブスペ cialty 専門医資格 取得
新研修制度	0.023*	0.016	-0.011	0.033	-0.050*	-0.034	-0.012*	0.025**	-0.089***
新研修制度 × 女性	0.018	0.035	0.097**	-0.028	0.023	0.110***	0.030**	0.039**	0.082***
R ²	0.025	0.088	0.149	0.020	0.084	0.101	0.032	0.098	0.103
N	69389	31894	31894	24446	11118	11118	184524	83333	83333
男性医師に中での 取得割合	0.817	0.837	0.522	0.886	0.923	0.293	0.880	0.273	0.681

新制度により、

【初職診療科：外科・産婦人科】サブスペциリティ領域専門医資格を取得する女性が増えた

【初職診療科：内科】初職診療科の継続、基本領域専門医資格を取得、サブスペциリティ領域専門医資格を取得する女性が増えた

選択した診療科との適合性が向上し、専門医資格取得につながりやすくなつた

新臨床研修制度からの考察

- 新臨床研修制度(スーパーポート研修)

- 複数の診療科を経験
- 女性医師は、外科を敬遠しがちであった

⇒女性研修医が、外科系診療科(外科・泌尿器科・脳神経外科)を選ぶ
乳腺外科の女性割合が高まる

⇒女性医師がサブスペシャリティ領域専門医資格取得↑

今後の課題

- キャリア形成初期段階・中堅段階における男女差は大幅に縮小しているが、いまだに男女差は存在する
- 整形外科に残る男女差

札幌医科大学医学部同窓生のキャリア形成と 医学生の診療科選択の現状と課題



札幌医科大学附属病院・西田幸代先生(泌尿器科)と協働、科研プロジェクト開始

- 2023年、札幌医科大学卒業の同窓生対象、アンケート調査「医師としての経験や考え方」実施
- 男性医師と女性医師の働き方や収入の差異を分析し、その原因を究明

若い世代が、将来への展望と意欲をもって医療に取り組める仕組み提言